

「第七中学校校舎新築その他工事」建築計画に係る説明会の実施結果について

1 開催日時、会場及び参加人数

日 時	会 場	参加人数
5 月 23 日(金) 18 時 30 分から 20 時 00 分まで	沼袋区民活動センター	20 人

2 主な質問・意見について

	質問・意見の概要	回 答
1	・防災倉庫の中身を屋内運動場へどのように運ぶのか。どのようなルートか。 ・備蓄倉庫から屋内運動場へ物を運ぶ際の扉の幅が狭いのではないか。 ・防災倉庫棟と備蓄倉庫の間の通路について、ウイングが開くタイプの大型トラックを通す程の通路幅は確保されているか。災害時に大きなトラックが入れないと困るのではないか。	・防災倉庫には投光器等の外部で使用するものを格納する予定としている。備蓄倉庫には災害時の食料等を保管する。備蓄品等は、備蓄倉庫の北面のシャッターから搬入し、器具庫を通して屋内運動場へ運び出す想定としている。 ・現状 1.8m の通路幅は確保している。備蓄倉庫への搬入口となる北面のシャッターはより大きく開くことが可能である。備蓄倉庫から屋内運動場への荷運びには台車を使用する想定である。 ・備蓄品等の搬入については、通路幅に合わせた車両を使用することを想定している。
2	・前回の説明会で出た質問に対する回答はどうなっているのか。	・今回の説明会で主な変更点等を説明させていただいた。その他細かな部分については、お問い合わせいただければ個別に対応させていただく。

3	・校舎棟の2階から校庭へ出る屋外階段について、方向の検討と、視線対策としての屋根を設置してほしいと前回説明会にて意見があったが、それについてはどうなっているか。	・日常的かつ頻繁に利用することは想定していないため、変更していない。
4	・東側にある廃棄物保管庫について、臭い対策はしているか。	・排気口の向きについては、可能な限り近隣への影響がないように設けようと考えている。保管の仕方としては、専用の保管庫の中のポリバケツに密閉するようにして、必要以上に開けることがないようにし、極力臭いが外に出ないようにと考えている。なお、ゴミ収集は週2回を予定している。
5	・3階の手摺は乗り越えられる高さと思われるが、危険ではないか。2階と同じ高さにすればよいのではないか。 ・バルコニーを設ける理由は何か。	・3階以上のバルコニーは日常的な利用は想定していない。2階のバルコニーについては、利用頻度は多くないが、運動会等催事の際に観覧の場所とするなど、利用の機会を想定しているため、3階バルコニー手摺より高いものを設置する計画としている。3階以上のバルコニーの手摺については、教室の窓からの眺めとしても1.2mの方が望ましく、基準値以上の高さの手摺としているため、安全上は問題ないと考えている。 ・窓から物が落ちたときに地上まで落ちないようにするためや、不審者が教室に侵入した際に、バルコニー側に避難できるようにするなどのため、バルコニーを設置している。
6	・14ページ D-D'断面図において、5階と6階の間のプールピットの西側に大きな空間があるが、ここは何か利用できるスペースなのか。	・5階特別教室等の天井裏の空間であり、利用の想定はない。
7	・今回の説明会で出た意見によって、計画を変更することはないのか。	・これまでの説明会で色々と意見をいただき、可能な範囲で意見を反映してきている。今回説明会にて、その計画内容を説明し、この内容で進めていく予定としている。基本的にこれからの変更は考えていない。

8	・2階バルコニーから校庭を観覧する際は、どのように見ることができるのか。	・手摺は縦格子を想定しているため、観覧の際は、手摺の上もしくは格子の間から見るかたちとなる。
9	・教室への不審者侵入の非常時には、3階以上のバルコニーからどのように逃げればよいのか。	・バルコニーが各教室に続いているので、別の教室に避難することができる。
10	・音楽室が6階にあると、楽器運搬の観点からして非常に大変ではないか。 ・音楽室の防音対策はどうしているのか。	・楽器運搬の際はエレベーターの使用を想定している。なお、エレベーターは、グランドピアノが入る程度の大きさを想定し、生徒の日常使用は想定していない。 ・音楽室は窓を二重サッシとして防音対策を図っている。
11	・北側にある門は通常施錠されているのか。現在は職員の出入りが見受けられるが、新校舎ではどうなるのか。	・北門1は日常的に生徒が出入りする想定はなく、施錠管理していく予定としている。生徒以外で、どのような使われ方をしていくかは今後運営していく中で見極めていくものとする。
12	・新校舎の警備体制はどのようなになるのか。	・警備体制としては、機械警備を導入し、門には電気錠を設ける予定である。日中は警備員による警備もあり、機械警備とともに時間に合わせて警備体制を整えていく考えである。
13	・既存校舎にはアスベストが使用されているか。	・既存校舎には内装材等にアスベスト含有建材が使用されている。解体の際は、適正な処理をした上で工事を進めていく。
14	・屋内運動場棟の北側の室外機置場で防音対策をすることだが、敷地境界でどの程度の騒音を想定しているか。	・46デシベル程度の騒音を想定している。規制値が40デシベルのため、防音パネルを設置して規制値内におさまるように検討していく。

15	・プールピットがある分、通常の6階建ての建物より高くなるのか。	・通常より 1.5m 程度高くなっているものとする。
16	・地上部の緑化とは、どのようなイメージか？ 落ち葉が民地に入ったり、虫が増えることがないようにしてほしい。実際にそのようなことが起きた場合には、近隣の意見を聞いて、対策するようにしてほしい。	・敷地に低木・中木・高木をバランスよく配置する必要がある。害虫が寄り付きにくい樹種であったり、常緑樹か落葉樹かなども含めて、位置を検討していく。その後の維持管理については、学校の運用の中で対応していくことになる。
17	・屋内運動場の防音対策はどうなっているのか。また、北側に窓はあるか。	・屋内運動場の西面に窓は設けていない。空調管理のため、基本的には閉め切った運用になると考えている。また、屋内運動場の北側には、ステージとその奥に備蓄倉庫がある。備蓄倉庫のシャッターはあるが窓はない。
18	・人工芝の熱さ対策としてのスプリンクラーはどの位置にどのくらい設置されるのか。また、水を撒くタイミングはいつを想定しているのか。	・スプリンクラーは校庭の北・東・西の3か所に設置する予定であり、3つで校庭全域をまかなう計画としている。散水のタイミングは学校の運用による。
19	・備蓄倉庫と屋内運動場には高低差はあるか。	・段差等高低差はない。
20	・今後のスケジュールについて、工事説明会開催後すぐに工事開始するようと思われるが、近隣の意見を聞いて、説明会はもっと前の段階で開催してほしい。	・工事説明会開催後、家屋調査を行った後に、工事着工する予定である。詳細な工事の時期については、工事説明会にてお知らせする。
21	・校舎の配置が大きく変わること、風通しはどのように変わるか。	・風に関する検証をしていないため、風通しがどう変化するかは、回答できない。